

石油緊急時報告データ入力プログラム

オペレーションマニュアル

平成23年3月

目次

1.	動作環境	1
2.	起動と終了	4
3.	環境設定	5
4.	調査票作成の三つの方法	7
4.1	調査票の新規作成	7
4.2	前回入力情報を利用しての編集	7
4.3	調査票ファイルの直接指定	7
5.	調査票入力画面	8
5.1	《画面の主な構成》	8
5.2	《入力の主な構成》	9
5.3	《エラー画面の主な構成》	11
5.4	《印刷プレビュー画面の主な構成》	12
5.5	《バージョン確認画面の主な構成》	12
5.6	《CSVファイルの入出力》	13
6.	各調査票入力画面	14
6.1	原油船積計画《週次》	14
6.2	石油ガス船積計画《週次》	15
6.3	原油船舶輸送状況《週次・日次》	16
6.4	石油ガス船舶輸送状況《週次・日次》	17
6.5	石油輸入実績《週次・日次》	18
6.6	石油輸出実績《週次・日次》	21
6.7	製油所原油処理・生産・受入・払出量《週次》	24
6.8	油槽所等石油製品・半製品在庫量《週次》	25
6.9	製油所等石油在庫量《週次》	26
6.10	製油所等原油処理・石油在庫量《日次》	27

1. 動作環境

(1) 動作可能なシステム環境

Microsoft Windows 98 以上で最新のサービスパックまたは修正パッチが適用されていること。

また、プリンタが接続され、プリンタドライバがインストールされていること。

(2) インストール

プログラムが格納されたファイルを、石油情報報告に関する情報発信サイトよりダウンロードして、ハードディスクにインストールします。

<インストールの手順>

- ・石油情報報告に関する情報発信サイトより新規インストール用のプログラム「[setup 緊急時入力.exe](#)」をダウンロードします。
- ・ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- ・インストールプログラムが起動します。画面に表示される説明にしたがって操作して下さい。
- ・「新・緊急時報告データ入力プログラム」がインストールされます。

※必ずシステム管理者(Administrator)でログオンして、セットアップして下さい。

(3) アンインストール

PCにインストールされた「新・緊急時報告データ入力プログラム」を削除し、導入前の状態に戻します。

<アンインストールの手順>

- ・「新・緊急時報告データ入力プログラム」を終了します。
- ・「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」を開きます。
- ・「報告データ入力プログラム」を選択し、「緊急時入力」から「新・緊急時報告データ入力プログラムをアンインストールする」をクリックします。
- ・アンインストールプログラムが起動します。画面に表示される説明にしたがって操作して下さい。

(4) プログラム内で使用するファイル

「新・緊急時報告データ入力プログラム」を実行するためには、以下のファイルが必要です。

- ・ タンカー.csv
- ・ 企業.csv
- ・ 企業事業所.csv
- ・ 供給者.csv
- ・ 契約期間.csv
- ・ 原油油種.csv
- ・ 国地域.csv
- ・ 積出港.csv
- ・ 用船区分.csv
- ・ 船舶現在位置.cod
- ・ 輸出種別.cod
- ・ 輸入種別.cod
- ・ 液化ガス.cod
- ・ 製品油種.cod

上記のマスタファイルが格納されているフォルダを「新・緊急時データ入力プログラム」起動後に、環境設定から指定してください。

(5) 「新・緊急時報告データ入力プログラム」が作成するファイル

「新・緊急時報告データ入力プログラム」でデータ更新時には、以下のファイルをデータフォルダに作成します。

《週次》

- KIyyyymmddKKK-w0a.csv (原油船積計画)
- KIyyyymmddKKK-w0b.csv (石油ガス船積計画)
- KIyyyymmddKKK-w01.csv (原油船舶輸送状況)
- KIyyyymmddKKK-w02.csv (石油ガス船舶輸送状況)
- KIyyyymmddKKK-w03.csv (石油輸入実績)
- KIyyyymmddKKK-w04.csv (石油輸出実績)
- KIyyyymmddKKK-w05.csv (製油所原油処理・生産・受入・払出量)
- KIyyyymmddKKK-w06.csv (油槽所等石油製品・半製品在庫量)
- KIyyyymmddKKK-w07.csv (製油所等石油在庫量)

《日時》

- KIyyyymmddKKK-d01.csv (原油輸送状況)
- KIyyyymmddKKK-d02.csv (石油ガス輸送状況)
- KIyyyymmddKKK-d03.csv (石油輸入実績)
- KIyyyymmddKKK-d04.csv (石油輸出実績)
- KIyyyymmddKKK-d05.csv (製油所等原油処理・石油在庫量)

yyyy : 対象年

mm : 対象月

dd : 対象日

KKK : 報告企業コード

2. 起動と終了

(1) 起動方法

スタートボタンより

すべてのプログラム ⇒ 報告データ入力プログラム ⇒ 緊急時入力 ⇒
新・緊急時報告データ入力プログラム を選択してください。

(2) 終了方法

終了ボタンか右上のクローズボタンから終了を行います。

編集中的数据があれば、確認メッセージが表示されます。

緊急時前報入力プログラム - [緊急時入力プログラム] :メイン画面

ファイル(F) GSV入出力(O) ヘルプ(H)

使用するファイル格納フォルダ
 データ格納フォルダ * : C:\報告データ入力プログラム\緊急時入力
 コードマスタファイル格納フォルダ * : C:\報告データ入力プログラム\緊急時データ入力プログラム用マスタ

報告者基本情報
 企業コード * : 001
 企業名 * : JPEC石油(株)
 申請義務者氏名 * : JPEC一郎
 作成者所属部署 * : 統計解析部
 電話番号 * : 03-5402-8507

緊急時情報
 連次
 ファイル作成対象年月日 : 2011/03/12
 原油船種計画 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油ガス船種計画 [更新] [新規] [印刷報告]
 原油船輸送状況 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油ガス船輸送状況 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油輸入実績 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油輸出実績 [更新] [新規] [印刷報告]
 製油所原油処理・生産・受入・払出量 [更新] [新規] [印刷報告]
 製油所等石油在庫量 [更新] [新規] [印刷報告]
 油槽所等石油製品・半製品在庫量 [更新] [新規] [印刷報告]

日次
 ファイル作成対象年月日 : 2011/03/13
 原油船輸送状況 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油ガス船輸送状況 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油輸入実績 [更新] [新規] [印刷報告]
 石油輸出実績 [更新] [新規] [印刷報告]
 製油所等原油処理・石油在庫量 [更新] [新規] [印刷報告]

各項目を設定してください。 *印は必須項目です

補助機能(F2) 終了(Q)

ログインユーザー JOHO-10 メニューから処理を選択してスタートしてください 2011/03/14 11:36

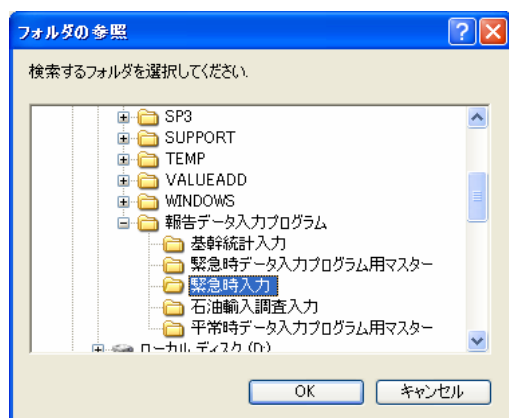
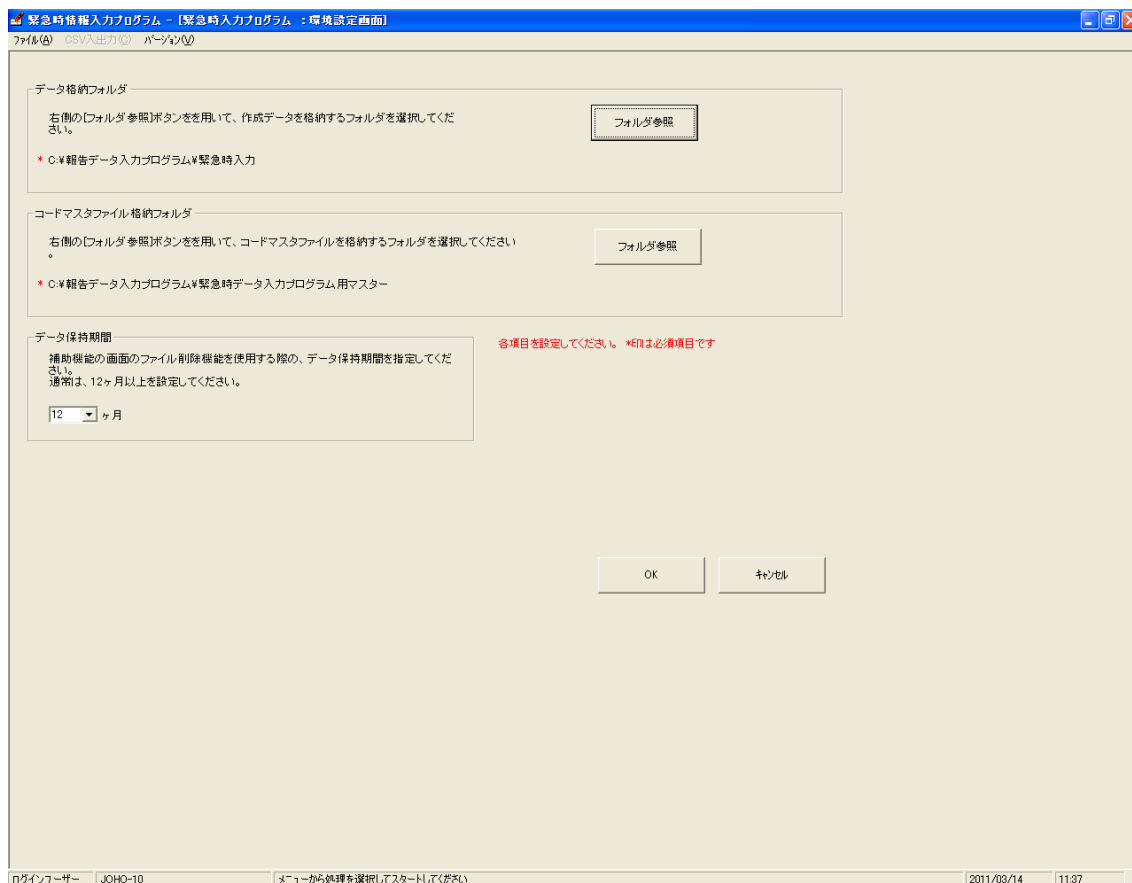
3. 環境設定

最初に起動時に補助機能ボタンを実行して、以下の設定を行ってください。

- ・ 環境情報
- ・ 基本情報

《環境設定》

緊急時情報の格納場所、マスタファイルの格納場所、データ保持期間の設定を行います。



フォルダ参照ボタンを実行すると以下のダイアログが表示されますので、データを格納する場所を選択してください。

《基本設定》

以下の設定を行います。

- ・ 企業コード（企業名を選択すれば自動で入力されます）
- ・ 企業名
- ・ 申請義務者氏名
- ・ 作成者所属部署
- ・ 電話番号

緊急時情報入力プログラム - [緊急時入力プログラム] : 基本設定画面

ファイル(F) CSV入出力(O) ヘルプ(H)

報告者基本情報

企業コード* : 001

企業名* : JPEC石油(株)

申請義務者氏名* : JPEC-部

作成者所属部署* : 統計解析部

電話番号* : 03-5402-8507

各項目を設定してください。*印は必須項目です

OK キャンセル

ログインユーザ JOHO-10 2011/08/14 1150

※環境設定が正しく設定されていないと本画面は使用できません。

4. 調査票作成の三つの方法

緊急時情報の調査票のデータを作成する際には、次の3種類の方法があります。

- ・ 調査票データを新規に作成して保存する方法 → 4.1
- ・ 前回入力したデータを元に、調査票データを作成する方法 → 4.2
- ・ 過去の調査票データを読み込んで、編集した後、今回分の報告用の調査票データとして保存する方法 → 4.3

4.1 調査票の新規作成

全く新しくデータを入力したい場合の操作手順を示します。

- (1) 週次、日次の選択を行います
- (2) ファイル対象年月日を選択します。(週次の場合は土曜日のみ選択可能)
- (3) 編集する種類の調査票と同じ階層にある新規ボタンをクリックし、データ入力を行ってください。

4.2 前回入力情報を利用しての編集

登録済みのデータを変更したい場合の操作手順を示します。

- (1) 週次、日次の選択を行います。
- (2) ファイル対象年月日をコンボボックスから選択します。コンボボックスには保存された調査票の対象年月日が格納されています。
- (3) 編集する種類の調査票と同じ階層にある更新ボタンをクリックし、データ入力を行ってください。

4.3 調査票ファイルの直接指定

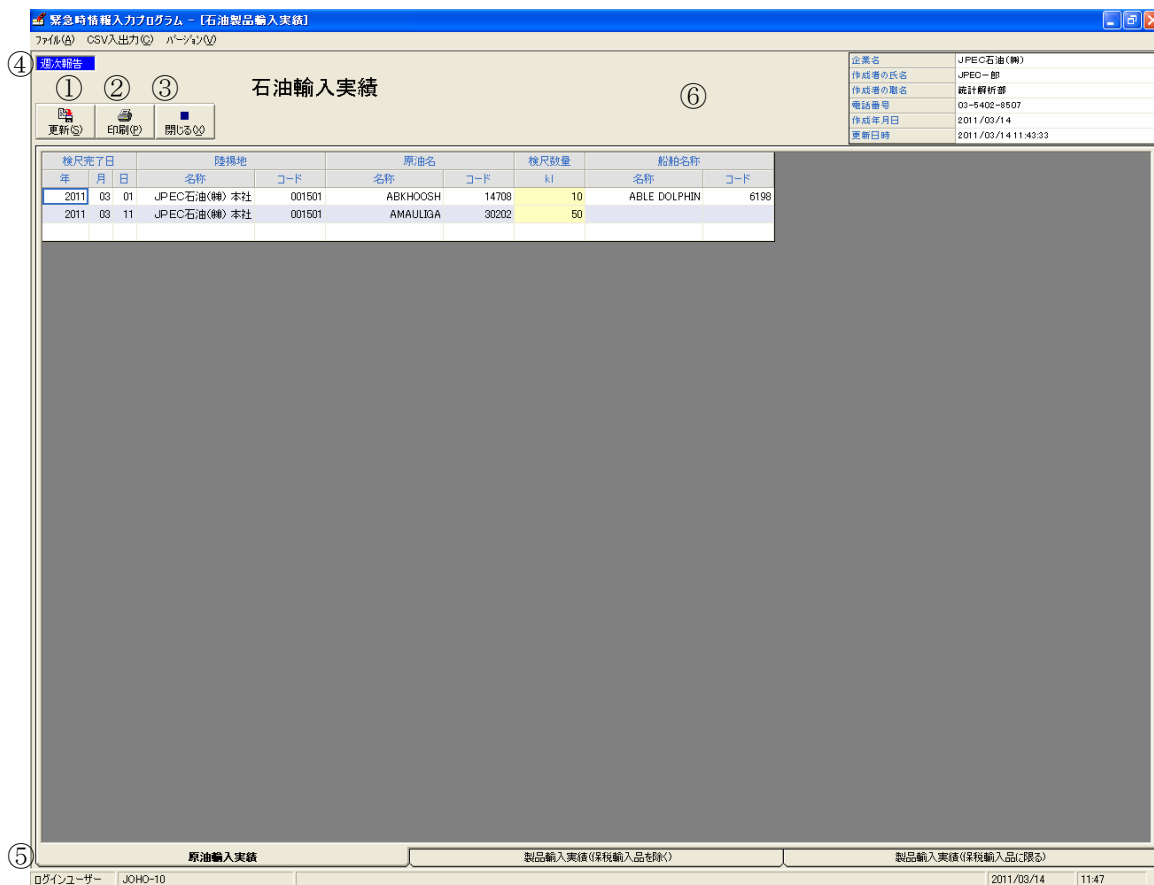
登録済みの CSV ファイルを指定してデータ編集したい場合の操作手順を示します。

- (1) 補助機能ボタンを実行して、次にファイル直接参照ボタンを実行します。
- (2) CSVファイルを選択するダイアログが表示されますので、データ編集を行うファイルを選択すると、データ編集画面に遷移します。

5. 調査票入力画面

調査票入力用画面でのデータ入力方法を原油・製品輸入実績を例に説明します。

5.1 《画面の主な構成》



- ①更新ボタン 入力データの更新及び保存を行います。エラーが発生した場合は、エラーを表示します。
データを未入力で行った場合、ヘッダレコードのみを出力したファイルを作成します。
- ②印刷ボタン 現在のデータを印刷プレビュー画面で表示します。(図5を参照)
- ③閉じるボタン 画面を終了します。データの変更がある場合は終了確認メッセージを表示します。
- ④週次・日次 週次か日次かを表示します。
- ⑤タブ 製油所等石油在庫量のように前週末、前々週末と入力する欄が複数に分かれる調査票の場合、タブが複数表示されます。
入力するタブを切り替えて入力を行ってください。
- ⑥作成元ヘッダ 基本情報の内容を表示します。

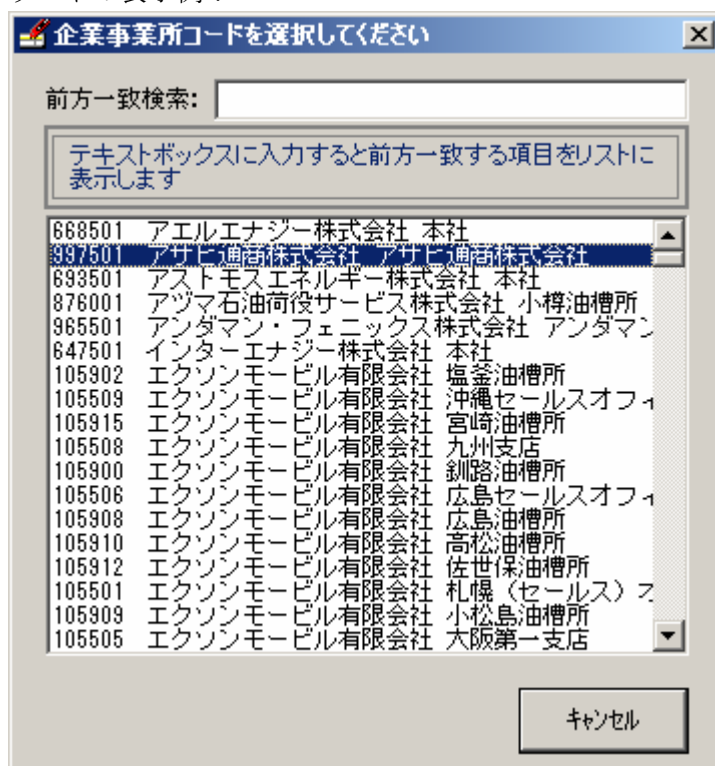
5.2 《入力の主な構成》

入力方法は【コード入力】【日付入力】【数値入力】【貼り付け入力】【行削除】に大別されますのでこれを順に説明いたします。

【コード入力】

コード入力では直接入力する方法と、該当欄を右クリックしてリストから選択する方法があります。

リストの表示例：



※複数行のデータを入力する際に、同一のコードを選択することを禁止している調査票がありますので、その場合エラーメッセージが表示され、選択が無効になります。

【日付入力】

日付入力では直接入力する方法と、該当欄を右クリックしてカレンダーから選択する方法があります。カレンダーが表示されたら、日付をクリックしてください。

カレンダーの表示例：



【数値入力】

数値入力では、直接入力を行います。1～99,999,999 までの数値を入力してください。

【貼り付け入力】

EXCEL の様にクリップボードにコピーした内容を貼り付けること可能です。

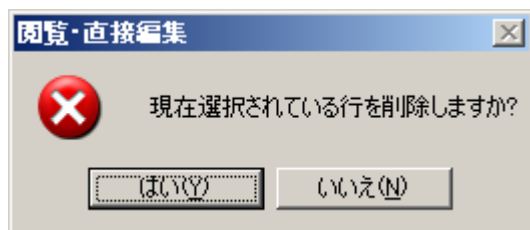
「CTRL」キーと「V」キーを同時に押すと、現在カーソルのあるセルから貼り付けを行います。複数行の貼り付けも可能です。貼り付ける行数が現在の行数を超えている場合は、自動的に行数を増やしてこれに貼り付けを行います。

コピーする場合は、セルを選択して「CTRL」キーと「C」キーを同時に押してください。セルをドラッグして複数のセルを選択することも可能です。

【行削除】

編集集中の行を削除する場合は、削除する行にカーソルを合わせて「Delete」キーを押してください。文字入力中の場合は Enter キーを押して一旦値を確定してから行ってください。

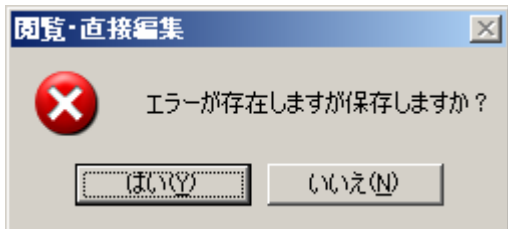
行を削除するか確認メッセージが表示されますので、これを選択してください。



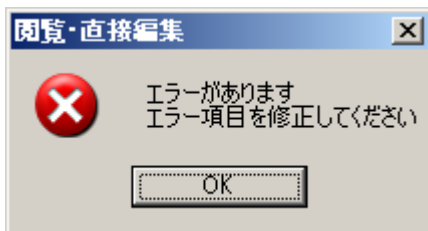
※何も入力されていない一番下の行は削除できません。

5.3 《エラー画面の主な構成》

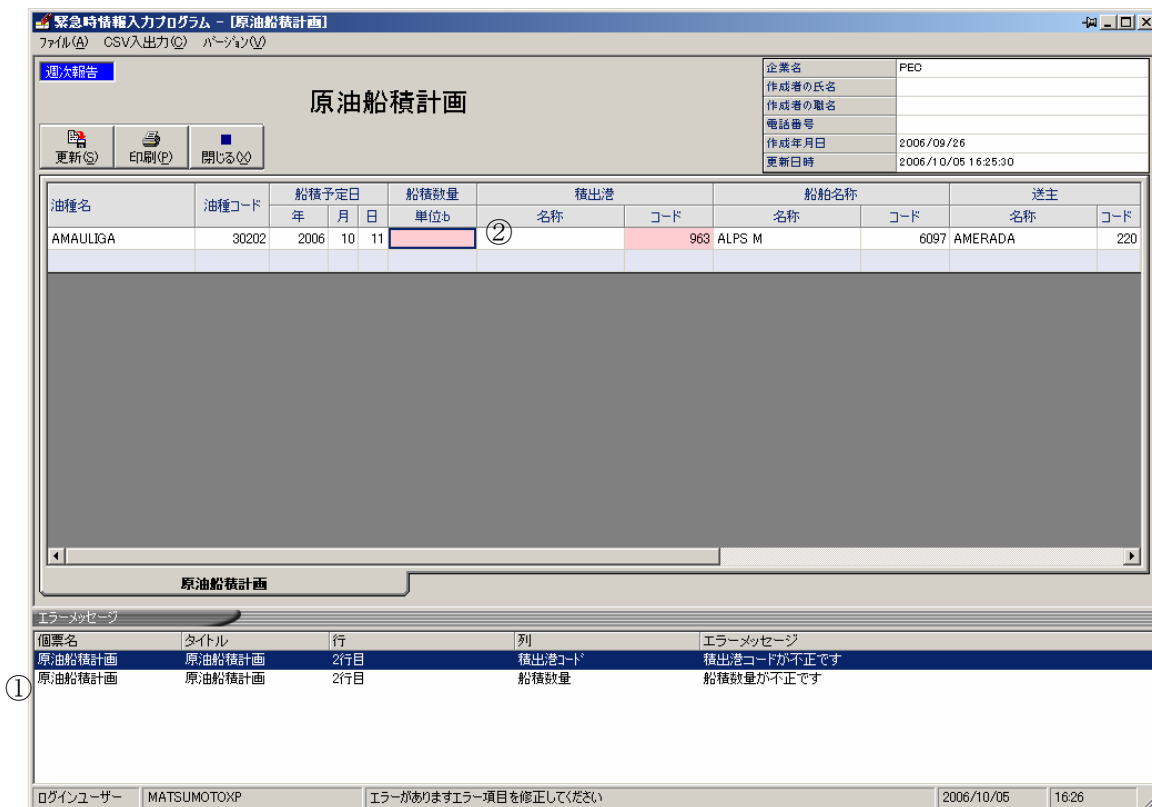
更新時にエラーが発生した場合は、保存を確認するメッセージが表示されます。これを保存することも可能ですし、保存せずにエラーを表示することも可能です。



上記のメッセージで「いいえ」を選択した場合の画面を説明いたします。



【エラーメッセージ表示画面】

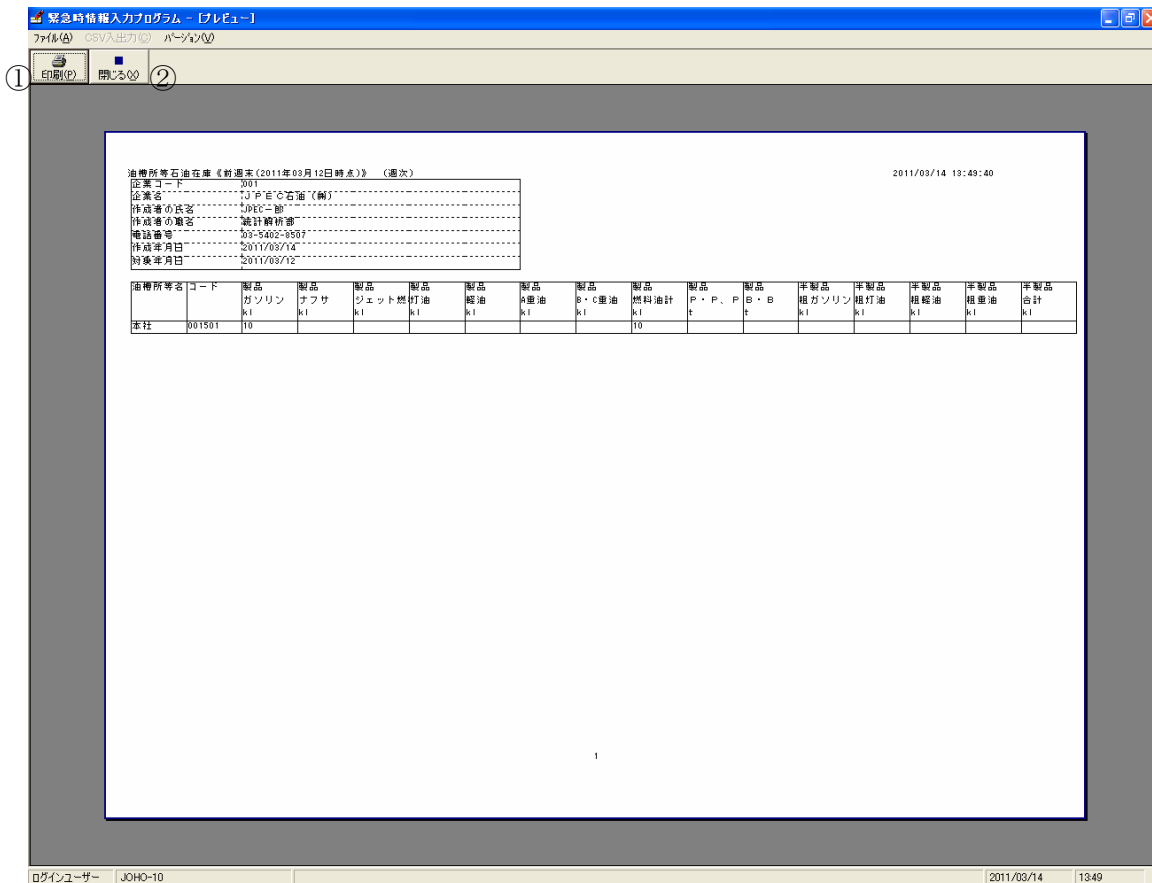


- ①エラーウィンドウ エラーの内容と場所を表示します。クリックするとエラー箇所へフォーカスを移動します。
- ②入力欄 エラーが発生している箇所の背景色を変更します。編集可能です。

5.4 《印刷プレビュー画面の主な構成》

各調査票画面の印刷ボタンから本画面を呼び出します。

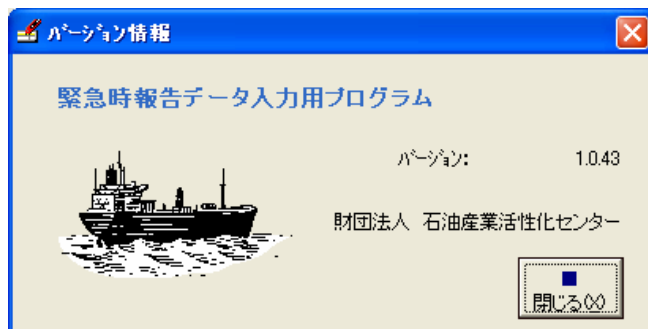
図5.印刷プレビュー画面



- ①印刷ボタン プリンタに現在の内容を出力します
- ②閉じるボタン 印刷プレビューを終了して、調査票画面に戻ります。

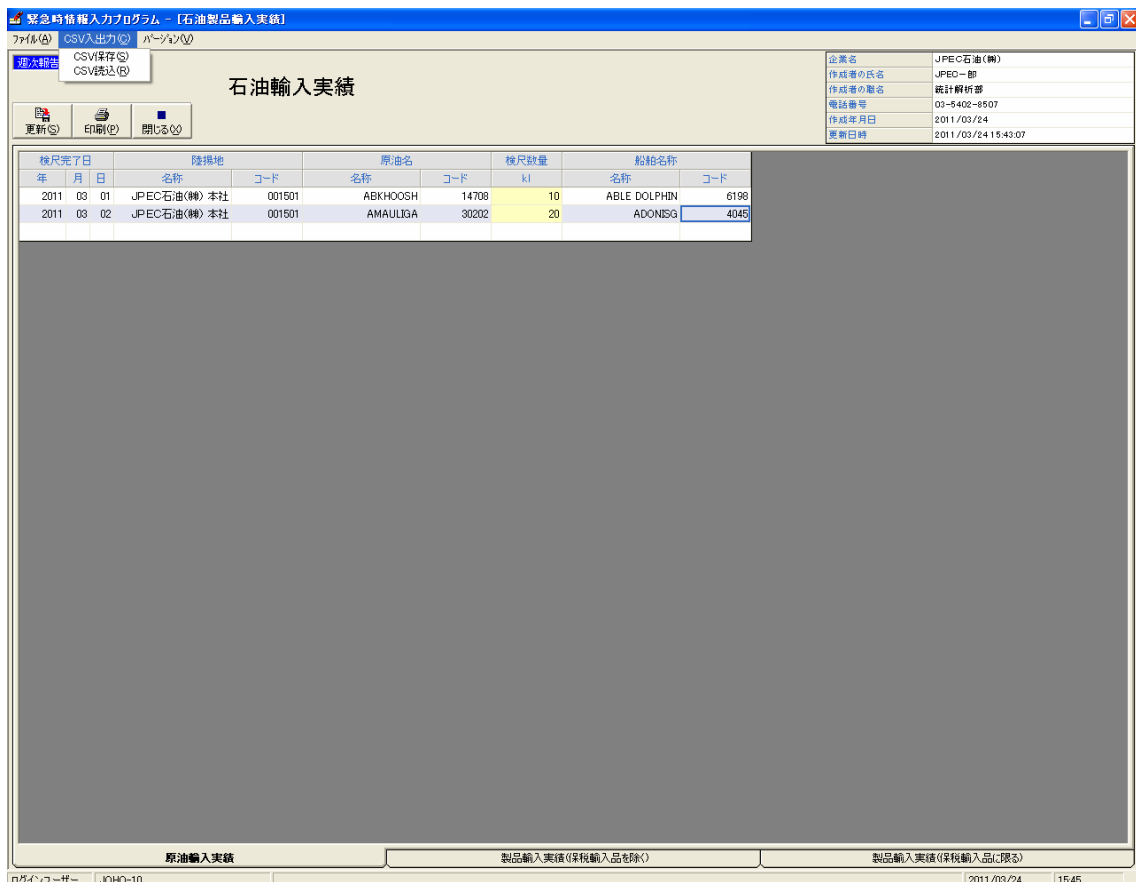
5.5 《バージョン確認画面の主な構成》

メニューでバージョンを選択すると、現在使用しているプログラムのバージョン情報がご覧いただけます。



5.6 《CSVファイルの入出力》

各調査票の編集画面へ遷移すると、csv 入出力ボタンが使用可能です。



csv 入出力機能の仕様は以下の通りです。

- ①csv 保存 現在表示している調査票を csv 形式で保存します。
 ファイルの保存ダイアログが表示されますので、ファイルの名前と保存する場所を選択してください。
 保存するデータの形式は、各調査票の出力フォーマットと同一ですが、ヘッダは出力されません。
- ②csv 読み込 現在表示している調査票画面に csv ファイルの読み込みを行います。ファイルの選択ダイアログが表示されますので、読み込むファイルの選択を行ってください。
 現在表示している調査票のデータはクリアしてから、読み込みを行います。※更新ボタンを実行しないとデータは確定しません。
 油槽所等石油製品・半製品在庫量のデータを読み込む際は、データ部の日付（前週末等）は、現在の画面の日付に変更して読み込みます。

6. 各調査票入力画面

6.1 原油船積計画《週次》

油種	船積完了予定日	船積数量	積出港	船舶名称	送主	原供給者
名称	年 月 日	単位b	名称	名称	名称	名称
ABKHOOSH	2011 03 01	10	AASGARD	ABLE DOLPHIN	21CENTRY	21CENTRY
ABKHOOSH	2011 03 04	60	AASGARD	ABLE DOLPHIN	21CENTRY	21CENTRY

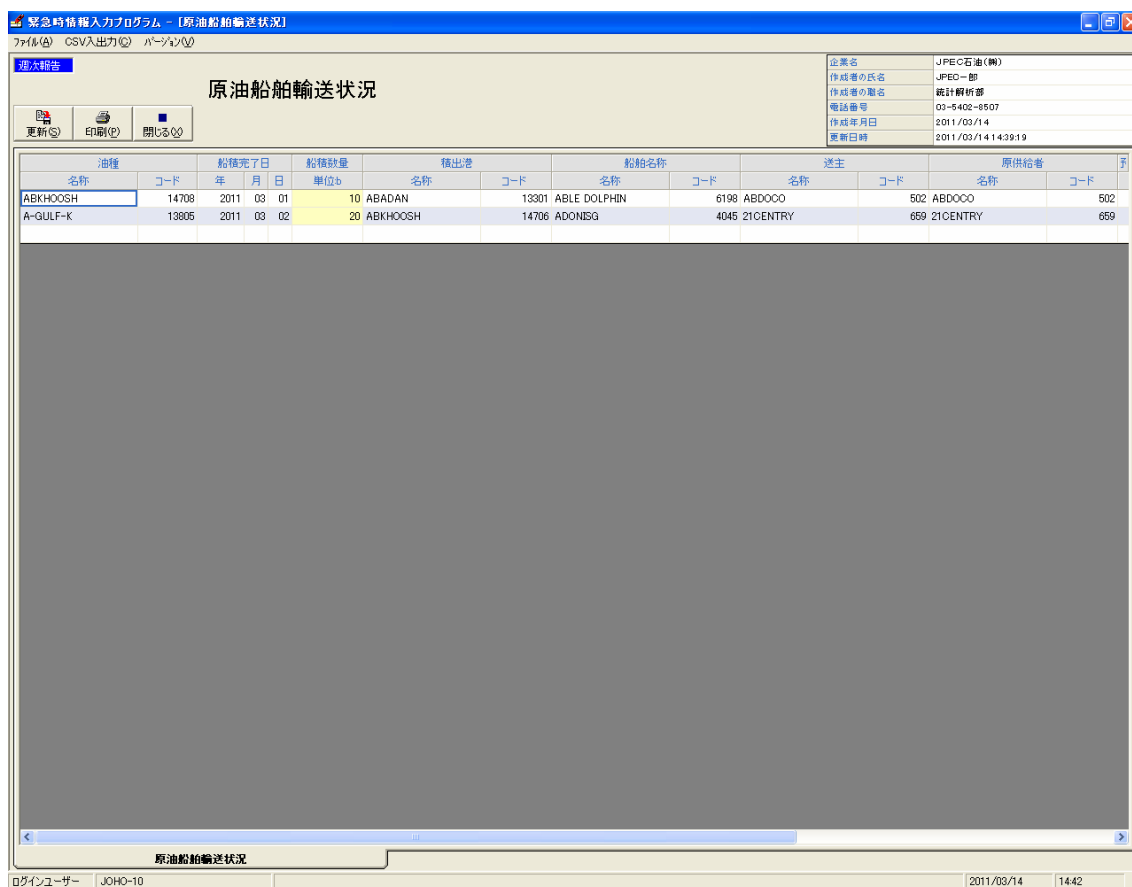
入力項目名	必須	入力条件
油種コード	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
船積完了予定日(年、月、日)	○	8バイト
船積数量(単位:b)	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又は船名・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日(年、月、日)		8バイト:到着予定日が入っている場合、(到着予定日 > 船積完了日) 以外はエラー
陸揚予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト

6.2 石油ガス船積計画《週次》

製品	船積完了予定日	船積数量	積出港	船舶名称	送主	原供給者
名称	年 月 日	単位	名称	名称	名称	名称
ナフサ	2011 03 01	100	AASGARD	ABLE DOLPHIN	AJOCO	21CENTRY
軽油	2011 03 04	10	ALBAKR	AKIKAWA M	ADNOC	ACHINSK

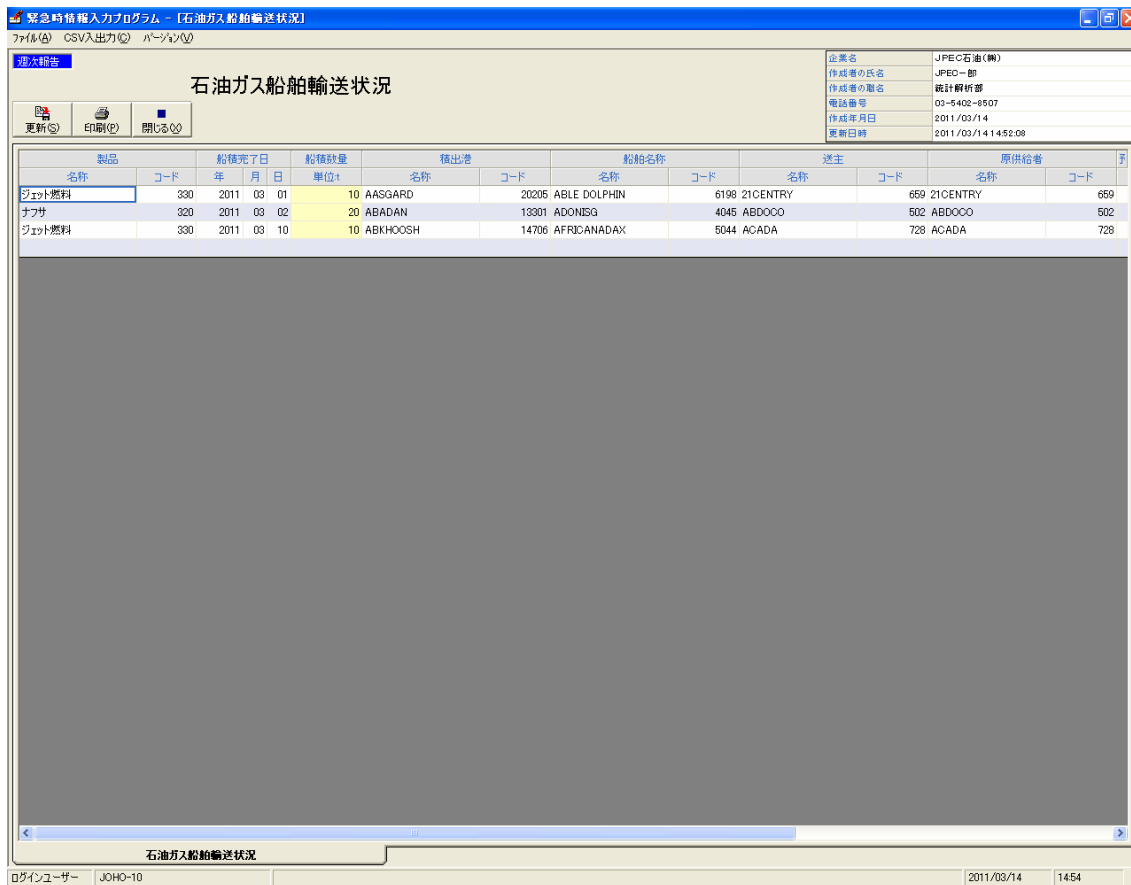
入力項目名	必須	入力条件
製品コード	○	直接入力又は製品コードファイルから選択、5バイト
船積完了予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：b）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト:到着予定日が入っている場合、(到着予定日 > 船積完了日) 以外はエラー
陸揚予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト

6.3 原油船舶輸送状況《週次・日次》



入力項目名	必須	入力条件
油種コード	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
船積完了予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：b）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト:到着予定日が入っている場合、(到着予定日 > 船積完了日) 以外はエラー
陸揚予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
船舶現在位置コード		数値（1～6）1バイト。同一船舶なら位置コードを反映

6.4 石油ガス船舶輸送状況《週次・日次》



入力項目名	必須	入力条件
製品コード	○	直接入力又は製品コードファイルから選択、5バイト
船積完了予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：b）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト:到着予定日が入っている場合、(到着予定日 > 船積完了日) 以外はエラー
陸揚予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
船舶現在位置コード		数値（1～6）1バイト。同一船舶なら位置コードを反映

6.5 石油輸入実績《週次・日次》

《原油輸入実績》

検尺完了日			陸揚地		原油名		検尺数量	船舶名称	
年	月	日	名称	コード	名称	コード	kl	名称	コード
2011	03	01	JPEC石油(株) 本社	001501	ABKHOOSH	14708	10	ABLE DOLPHIN	6198
2011	03	04	JPEC石油(株) 本社	001501	A-GULF-K	13805	20	AFRICANADAX	5044

入力項目名	必須	入力条件
検尺完了日 (年、月、日)	○	8バイト
陸揚地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
原油名	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
検尺数量	○	1~99,999,999
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト

《製品輸入実績（保税輸入品を除く）》

検尺完了日			陸揚地		製品名		船舶名称	
年	月	日	名称	コード	名称	コード	名称	コード
2011	03	01	JPEC石油(株) 本社	001501	ガソリン	310	ABLE DOLPHIN	6198
2011	03	02	JPEC石油(株) 本社	001501	灯油	340	AFRICANADAX	5044

企業名	JPEC石油(株)
作成者の氏名	JPEC-部
作成者の部署	統計解析部
電話番号	03-5402-8507
作成年月日	2011/03/14
更新日時	2011/03/14 14:57:57

入力項目名	必須	入力条件
検尺完了日（年、月、日）	○	8バイト
陸揚地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
製品名	○	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸入量	○	1～99,999,999
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト

《製品輸入実績（保税輸入品に限る）》

緊急時情報入力プログラム - [石油製品輸入実績]

ファイル(F) CSV入出力(C) ヘルプ(H)

油大報告

石油輸入実績

企業名	JPEC石油(株)
作成者の氏名	JPEC-部
作成者の部署	統計解析部
電話番号	03-5402-8507
作成年月日	2011/03/14
更新日時	2011/03/14 14:57:57

検尺完了日			陸揚地		製品名		輸入量		船舶名称	
年	月	日	名称	コード	名称	コード	kl	kg	名称	コード
2011	03	03	JPEC石油(株) 本社	001501	軽ガソリン	510	10		ABLE DOLPHIN	6198
2011	03	03	JPEC石油(株) 本社	001501	軽重油	540	20		AFRICANADAX	5044

原油輸入実績	製品輸入実績(保税輸入品を除く)	製品輸入実績(保税輸入品に限る)
--------	------------------	------------------

ログインユーザー JOHO-10 2011/03/14 1502

入力項目名	必須	入力条件
検尺完了日（年、月、日）	○	8バイト
陸揚地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
製品名	○	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸入量	○	1～99,999,999
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト

6.6 石油輸出実績《週次・日次》

《原油輸出実績》

輸出日			積出地		原油名		輸出量	輸出先	
年	月	日	名称	コード	名称	コード	kl	名称	コード
2011	03	01	JPEC石油(株) 本社	001501	ABKHOOSH	14708	10	アイスランド	201
2011	03	02	JPEC石油(株) 本社	001501	A-GULF-K	13805	20	アイスランド	206

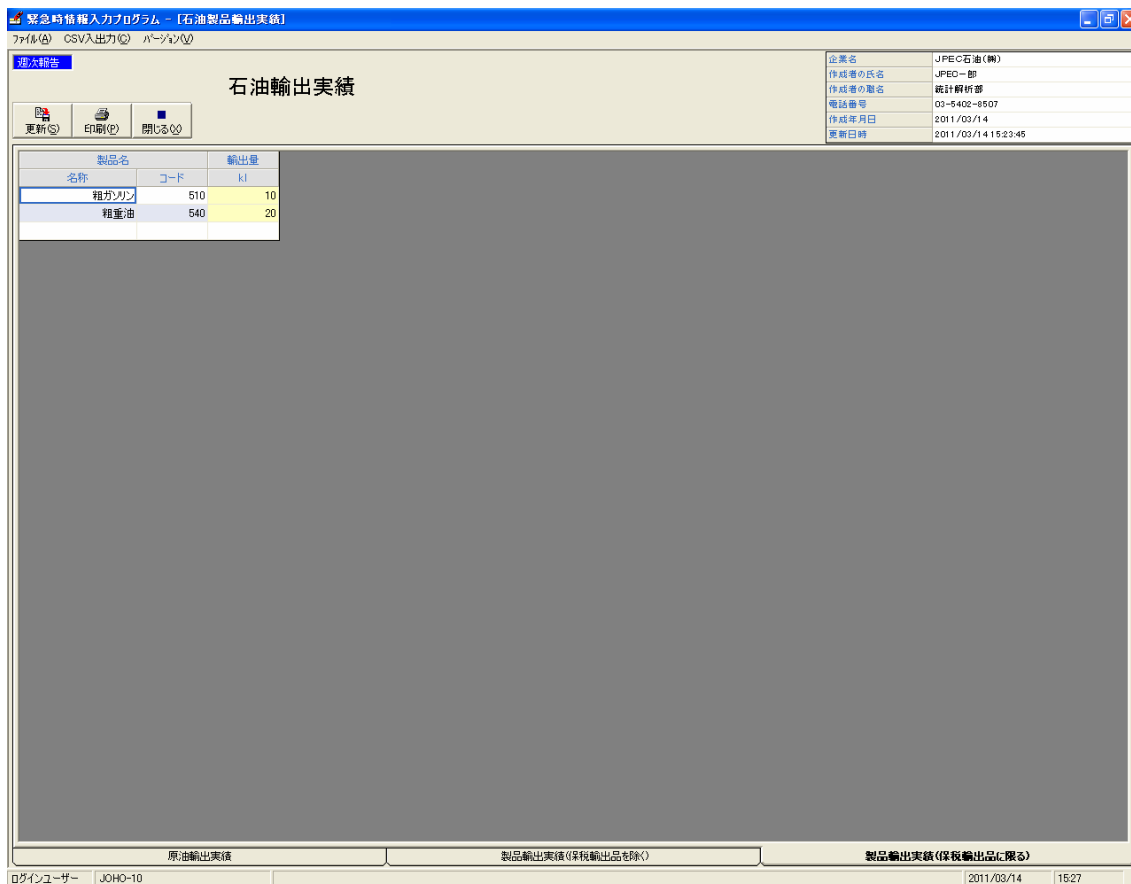
入力項目名	必須	入力条件
輸出日 (年、月、日)	○	8バイト
積出地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
原油名	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
輸出量	○	1~99,999,999
輸出先		直接入力又は国・地域コードファイルからの選択、3バイト

《製品輸出実績（保税輸出品を除く）》

輸出日			積出地		製品名		輸出量		輸出先	
年	月	日	名称	コード	名称	コード	kg		名称	コード
2011	03	01	JPEC石油(株) 本社	001501	ガソリン	310	10		イエメン	149
2011	03	02	JPEC石油(株) 本社	001501	灯油	340	20		イスラエル	143

入力項目名	必須	入力条件
輸出日（年、月、日）	○	8バイト
積出地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
製品名	○	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸出量	○	1～99,999,999
輸出先		直接入力又は国・地域コードファイルからの選択、3バイト

《製品輸出実績（保税輸出品に限る）》



入力項目名	必須	入力条件
製品名	○	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸出品	○	1～99,999,999

6.7 製油所原油処理・生産・受入・払出量《週次》

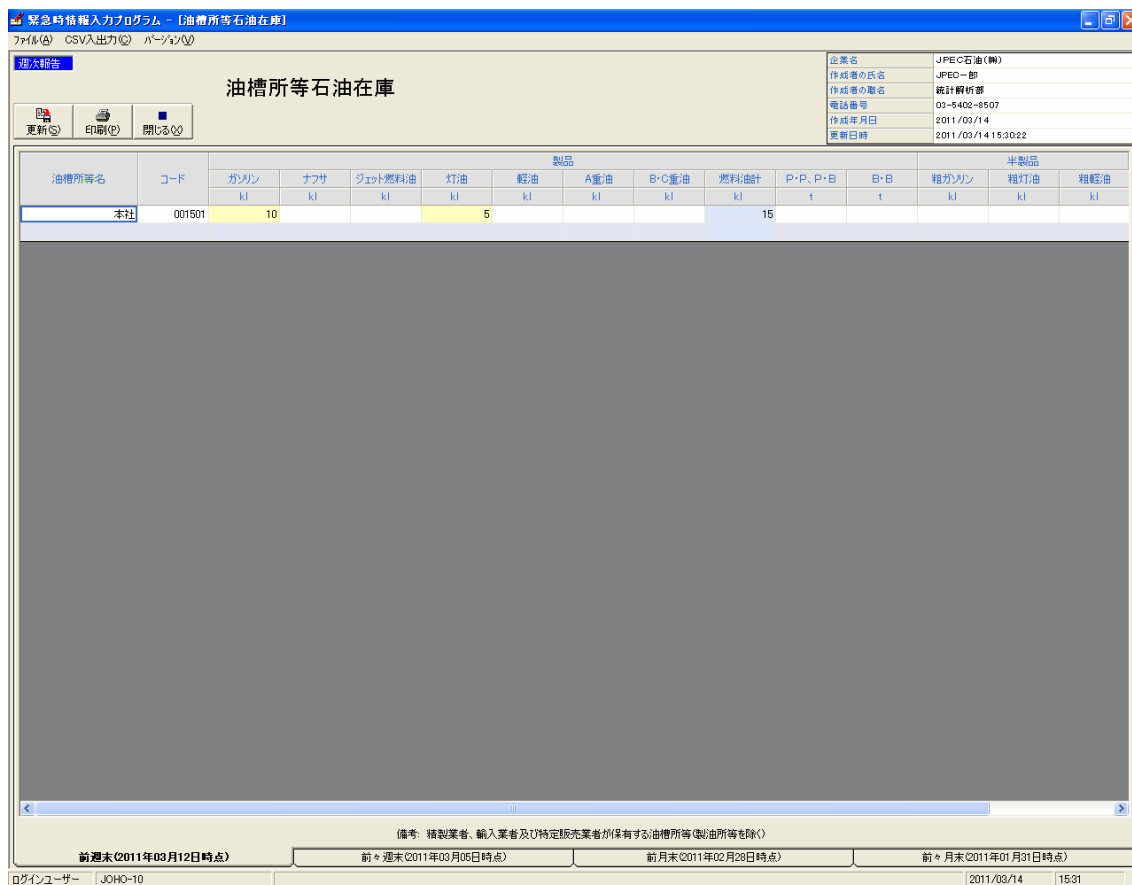
入力項目名	必須	入力条件
製油所名	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
処理量		1~99,999,999 原油のみ(単位:k1)
生産量		生産量、受入量、払出量については共通。1~99,999,999
受入量		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油およびB・C重油]の燃料油計を計算する(単位:k1)。P・P、P・B、B・B(単位:t)
払出量		

製油所名以外に何も入力されていなければ、エラー。

製油所名が重複していれば、エラー。

事業所の数は最大80事業所とする。

6.8 油槽所等石油製品・半製品在庫量《週次》



入力項目名	必須	入力条件
油槽所等	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
製品		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油、B・C重油]、[燃料油計] (単位:k1) [P・P、P・B、B・B] (単位:t)
半製品		[粗ガソリン、粗灯油、粗軽油、粗重油]、[合計] (単位:k1)

油槽所等以外に何も入力されていなければ、エラー。

油槽所等事業所が重複していれば、エラー。

油槽所等の数は最大80事業所とする。

[燃料油計]、[合計]は自動集計する。

6.9 製油所等石油在庫《週次》

入力項目名	必須	入力条件
製油所等	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
製品		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油、B・C重油]、[燃料油計] (単位:k1) [P・P、P・B、B・B] (単位:t)
半製品		[粗ガソリン、粗灯油、粗軽油、粗重油]、[合計] (単位:k1)

製油所等以外に何も入力されていなければ、エラー。

製油所等が重複していれば、エラー。

製油所等所の数は最大80事業所とする。

[燃料油計]、[合計]は自動集計する。

6.10 製油所等原油処理・石油在庫量《日次》

入力項目名	必須	入力条件
製油所等	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
原油		1~99,999,999 (単位:k1)
製品		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油、B・C重油]、[燃料油計] (単位:k1) [P・P・P・B、B・B] (単位:t)
半製品		[粗ガソリン、粗灯油、粗軽油、粗重油]、[合計] (単位:k1)

製油所等以外に何も入力されていなければ、エラー。

製油所等が重複していれば、エラー。

製油所等の数は最大80事業所とする。

[燃料油計]、[合計]は自動集計する。

以上